

令和7年度 青葉区福祉保健活動拠点事業実績評価の実施について

1 目的

福祉保健活動拠点（以下、拠点）における事業水準の維持向上を図ることを目的として、平成28年度から事業実績評価を実施しています。

2 評価対象施設

(1) 名称

青葉区福祉保健活動拠点

(2) 所在地

横浜市青葉区市ケ尾町1169番地22

(3) 指定管理者

社会福祉法人 横浜市青葉区社会福祉協議会

3 評価方法について

(1) 評価対象期間

令和7年4月～令和8年3月

(2) 評価期間

令和8年2月

(3) 評価内容

拠点の運営に関する事項について、ヒアリング及び事業実績評価用資料等に基づいて、評価を行います。

(4) 評価項目

令和7年度の評価項目については、別紙1のとおりです。

4 評価結果について

評価結果については別紙2のとおりです。

福祉保健活動拠点 事業実績評価 評価表

大分類	中項目	配点 (区評価者 2名)
1 場の提供	(1)場の提供を通じた関係性の構築・利用団体支援	20
	(2)拠点の利用促進に関すること	10
	(3)拠点のサービスの向上に関すること	5
	(4)利用調整会議等の開催	5
	小 計	40
2 ボランティア業務	(1)ボランティアに関する情報収集、分析、計画立案	10
	(2)ボランティアに関する広報、情報提供	10
	(3)ボランティアに関する相談、紹介	10
	(4)ボランティアに関する育成・支援・講座開催	10
	小 計	40
3 他の関連組織とのネットワーク	(1)関連組織及び地域との連携	5
	(2)地域の福祉保健課題への理解と協力	10
	小 計	15
4 ほか	(1)職員体制、育成	5
合 計		100

令和7年度 青葉区福祉保健活動拠点事業実績評価結果

【評価の考え方】

評価	内容
S	・特筆すべき実績・成果が認められ、事業の実績が優良な施設 (点数評価に換算すると概ね90%以上の得点の施設)
A	・事業の実績が良好であった施設 (点数評価に換算すると概ね60%以上90%未満の得点の施設)
B	・改善の必要性が多数認められ、事業の実績が良好でない施設 (点数評価に換算すると概ね60%未満の得点の施設)

施設名	指定管理者 (受託者) 名	評価	評価内容
青葉区 福祉保健活 動拠点	(社福) 青葉 区社会福祉協 議会	A	<p>【1 場の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者懇談会をきっかけに複数の団体連携事業ができてい ることを評価します。参加者の声を聞いて、次回以降も登録団体が 参加してよかったと思える懇談会を期待します。 ・レイアウトや窓口当番の変更で利用者が高く満足しているこ と、また、満足度調査回答数が前年度10%以上であることも評価 します。 ・第2回利用者懇談会(あおボラ park)は、イベント形式とする ことで、準備・話し合いを通じて、会議形式では得られない利用 者同士の交流や理解が生まれ、よい取組であったと評価していま す。また、利用者だけでなく小学校や民間企業も参画する工夫が できています。 ・貸館予約のWEB対応については、活動者の利便性向上が見込ま れるため、自主的な導入や関係機関との連携など様々な方法での 導入可否を検討してください。 ・次年度から施設の開館ルールが変更となるため、利用者等へ丁 寧に説明するとともに、ホームページでわかりやすくお知らせす るなど混乱の起きないように対応をお願いします。 <p>【2 ボランティア業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あおボラ park に多くのボランティア団体が参画できるよう丁 寧に準備ができています。ボランティアに興味を持った方への積 極的な声掛けやコーディネートを期待しています。 ・福祉教育の実施数・助成件数が増えています。アンケート等で ニーズを的確に把握した成果が出ています。 ・ボランティアメンバーに多様性があれば、活動内容にも好影響 を与える可能性があります。外国籍や障害者等のボランティア登 録にも努めましょう。 ・ボラセンだよりは、不定期発行から毎年2月などの定期化を図 り、読み手に分かりやすい発行体制に努めてください。また、昨 年度作成したパンフレットをさらに活用するため、関係機関等に 協力を依頼して事業周知を進めてください。

		<p>【3 他の関連組織とのネットワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あおボラ park では、ボランティア団体が関連組織や地域と顔を合わせる機会となっています。好事例となるよう期待しています。 ・活動団体の課題となる事項について、関係機関と連携して解決、支援していけるように情報共有等をお願いします。 ・社会福祉大会では、障害者の生活の困りごとを伝え、地域の支え合いを促すパネルディスカッションを行いました。これまでの地区事例発表とは異なる新たな切り口で好評でした。 ・第5期地域福祉保健計画の策定を通じて、地域が課題の振り返りや棚卸し、活動の再認識などを行うきっかけを創出しました。 <p>【4 その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修やOJTにより知識・技能を高めるとともに、地域との関係性をしっかり構築できる職員づくりに努めてください。 ・職員のワークライフバランスに配慮した運営を継続してください。
--	--	--